

課題	京町家の滅失と空き家化の要因のうち、担い手への情報不足、空き家所有者への利活用支援不足
目的	京町家等のクリエイティブ拠点創出 担い手となる入居者・事業者の掘り起こし、空き家所有者の利活用意向の醸成、支援専門家の育成
取組内容	取組1：担い手となる入居者・事業者の開拓 取組2：空き家所有者へのコンサルティング 取組3：支援専門家の育成 取組4：活用事例に関連したトークセッション（オンライン）の開催
成果	取組1：「MATCH YA」において京町家不動産情報提供（常時約30件掲載）及び不動産関係団体・事業者との連携、活用事例紹介（インタビュー、写真撮影、記事掲載）新規4件（通算掲載10件） 取組2：活用希望者の傾向把握、活用事例シート（18件）や京町家拠点の魅力と留意点の整理シートの制作 取組3：意見交換会開催（3回、参加者数延べ61名）、京都市の企業誘致事業との連携体制の整備 取組4：トークセッション ①新たな担い手向け（参加者105名） ②専門家・所有者向け（参加者75名）

取組1 担い手となる入居者、事業者の開拓

ポータルサイト「MATCH YA」の拡充 (<http://kyoto-matchya.com/>)

- ・京町家等の不動産報掲載 2021年10月末～ PROPERTIES常時約30件、成約3件
- ・活用事例を取材・撮影し記事として発信 STORIES新規4件（通算掲載10件）
- ・不動産関係団体・事業者との協働
- ・入力、掲載自動更新・メール通知等システムの導入
- ・利用規約、掲載要領、手引き等各種様式の整備



取組3 支援専門家の育成

- ・意見交換会3回（資金調達、流通市場の動向、活用ニーズ等）
- ・京都市の企業誘致事業と連携

取組2 空き家所有者へのコンサルティング

京町家クリエイティブ拠点の基礎資料の収集・整理

- ・活用・改修事例のリスト化、事例シートの作成
- ・魅力や留意点等の整理シート制作
- ・検討ワーキング3回実施



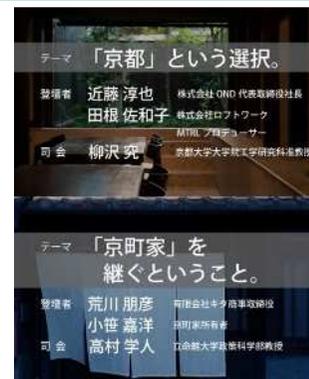
オフィス活用事例



コワーキングスペース活用事例

取組4 トークセッションの開催

- ①vol.1「京都」という選択。
（参加者105名）
首都圏の活用希望者など新たな担い手向け
クリエイティブ拠点の実践紹介
- ②vol.2「京町家」を継ぐということ。（参加者75名）
所有者、支援専門家向け
先進的活用手法の紹介



多様な事例を紹介

取組1：担い手となる入居者・事業者の開拓

▶不動産情報ポータルサイト「MATCH YA」の拡充と普及啓発

1 目的

京町家等の活ユーザーとなる、新たな担い手を掘り起こし、企業や起業家など、クリエイティブ層の活動拠点を誘致

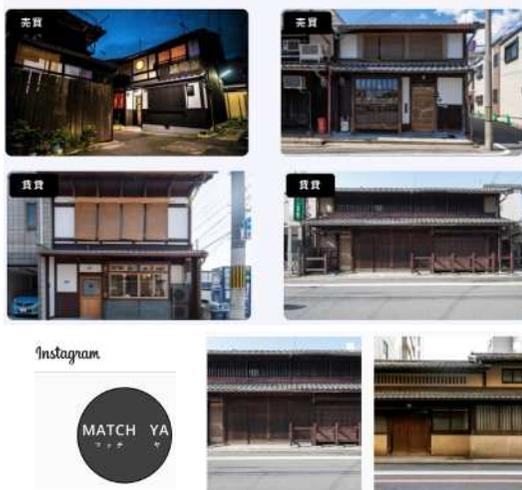
2 取組内容

文化的価値を有する京町家・古民家・近代和風住宅等の歴史的建造物に特化した、不動産情報及び活用事例を一元化して公開

3 成果

(1) MATCH YAの拡充

- ①京町家等の不動産情報の掲載
PROPERTIES常時約30件、成約3件



Instagram, Facebookで更新情報を発信

- ②多様な活用事例の紹介記事を掲載
STORIES新規4件 (通算掲載10件)

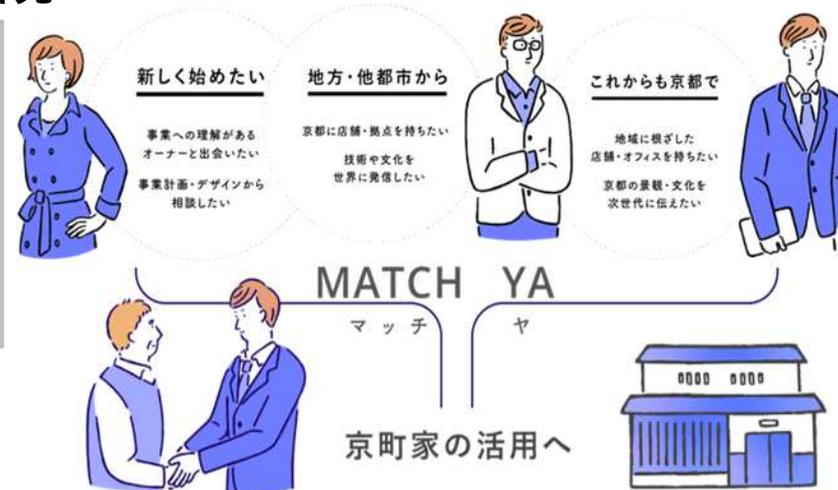


京都もやし町家
【活用/改修事例】
レンタルスペース、
自社イベント等会場



ソイコレ
【活用/改修事例】
所有者のオフィス
レンタルスペース等
多目的に活用

MATCH YA
URL <http://kyoto-matchya.com/>



- ③不動産関係団体・事業者との協働

事業者登録 8 社

不動産関連団体の協力

- ・公益社団法人 京都府宅地建物取引業協会
- ・公益社団法人 全日本不動産協会 京都府本部
- ・公益財団法人 日本賃貸住宅管理協会 京都府支部
- ・一般社団法人 京都府不動産コンサルティング協会
- ・京町家情報センター
- ・京町家居住支援者会議

- ④WEBページ制作、システムの構築

WordPress更新用ページの制作、
掲載自動更新・メール通知等

- ⑤利用規約、掲載要領、手引き等
各種様式の整備

取組 1：担い手となる入居者・事業者の開拓

▶不動産情報ポータルサイト「MATCH YA」の開設と普及啓発

MATCH YA

URL <http://kyoto-matchya.com/>



3 成果

(2) MATCH YAの普及啓発

①広報発表

PR TIMES、IGNITE、exciteニュース等WEBニュースに掲載
T's Webの記事「[京町家 色褪せない建築の世界](#)」掲載

②SUUMOジャーナルに掲載

不動産ジャーナリストから取材、
京町家等継承ネットの取組を紹介、Yahooニュースにも掲載

③SNS開設

Facebook、Instagramの開設、不動産情報のアップデートを発信

④関係団体等への周知

京町家等継承ネット31団体、
不動産事業者、活用希望者・所有者等

MATCH YA問い合わせ及び活用・賃貸・売買の相談件数 **34件**
(2021.10.25-2022.2.5事務局受付のみ)

SUUMOジャーナル 2022.1.24掲載



Yahooニュース
2022.1.31
掲載



SNS広告の活用

・Facebook、Instagram開設後、2022.1.24から両SNS広告を開始
トークセッションの告知を行った。

Facebook：リーチアカウント数 約20万4千
Instagram：リーチアカウント数 約16万 (2022.2.23時点)

取組2 空き家所有者へのコンサルティング

▶京町家クリエイティブ拠点の基礎資料の収集・整理

1 目的

空き家所有者へのコンサルティングにおいて、専門家に求められる知識として、最新の活用ニーズの把握、適切な改修に関する具体的な知識が必要であることから、京町家クリエイティブ拠点の基礎資料を収集・整理

2 取組内容

京町家の魅力、留意点を整理。京町家クリエイティブ拠点の活用手法、改修事例を収集・整理して資料化

(2) 京町家クリエイティブ拠点の実践者、活用希望者の傾向把握

【活用実践者・希望者の傾向】

- <ターゲット像> 会社・個人営業主・起業家
- ・企業戦略として、次の手を実践・検討
- ・本社移転やサテライト拠点として魅力ある都市に着目
- ・身軽に動ける業態 IT企業など
- ・効率最優先ではない企業風土、個人の価値観
- ・一歩進んだ企業姿勢（SDGsに対応等）
- ・インスピレーション、他とのコミュニケーション重視
- ・社員の働きやすさ、人材重視、人材育成重視

※活用実践者・希望者へのインタビューや相談対応の過程で伺った内容からターゲットを絞った。

3 成果

(1) 京町家クリエイティブ拠点の基礎資料の収集・整理

①活用・改修事例リスト化、事例シート18件作成



事例：コワーキング∞ラボ 京創舎
コワーキングスペース、
シェアオフィス運営



②魅力や留意点等の整理シート制作

京町家クリエイティブ拠点について、広報ツールの素材となる項目をまとめた整理シートを制作

【コンテンツ内容】

- ・なぜ京都？
- ・京町家の魅力とは？
- ・京町家で
気をつける点は？



③検討ワーキング 3回実施

京町家クリエイティブ拠点の可能性や課題について検討ワーキングを実施し基礎資料を制作した。

検討ワーキングメンバー
池井健氏（一級建築士）
岡田良子氏（一級建築士）
タナカユウヤ氏（コワーキングスペース運営経験者）

第2回検討ワーキングは水口貴之氏（京都R不動産運営）をゲストに迎え、京町家クリエイティブ拠点へのニーズを伺った。

取組3 支援専門家の育成

▶活用手法に関する意見交換会の開催と相談体制の強化

1 目的

支援専門家の知見をさらに高め、相談対応の充実化

2 取組内容

京町家の活用における資金調達手法、不動産流通市場の動向、活用ニーズについて意見交換会を開催

意見交換会（参加者延べ61名）

構成：学識者、不動産関係団体代表者、建築士、行政職員等

①2021.8.26開催（参加者13名）

京町家等のクリエイティブ拠点創出に向けた意見交換会（WEB検討会）

【概要】京町家等の不動産情報のMATCH YAにおける一元化について
市場流通の動向と不動産事業者の意向について

②2021.9.14開催（参加者29名）

歴史的建築物の保全・継承に向けた公民連携による方策の意見交換会

【話題提供】三菱商事・ユービーエス・リアリティ株式会社 三輪慎一氏

【概要】事業説明と仕組み、不動産投資の考え方について

※京町家等のクリエイティブ拠点創出に向けた意見交換会（WEB検討会）2部構成

③2021.12.22開催（参加者19名）

歴史的建築物の保全・継承に向けた公民連携による方策の意見交換会

【話題提供】株式会社51ActionR&D(京都R不動産運営)代表取締役 水口貴之氏

【概要】事業説明、京都の不動産への最近のニーズに関する感触等

※京町家等のクリエイティブ拠点創出に向けた 検討ワーキング2部構成

3 成果

（1）支援専門家の育成

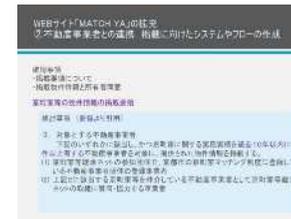
意見交換会による異業種交流、知見の共有・蓄積

①京町家の市場流通の状況を共有

⇒不動産事業者の協力を得た情報発信へ展開（MATCH YA）

②資金調達スキームの知見を共有・蓄積

③不動産投資事業者、新たな不動産事業者の参画



（2）相談体制の強化

①京都市との連携

企業誘致を推進する京都市の東京事務所や産業イノベーション推進室等との協力体制を築いた。

（参考）京都市企業誘致プロジェクト

「[Kyo-working](#)」

②不動産事業者との連携

活用希望者への不動産情報の提供や内覧対応を
MATCH YA登録事業者と連携して実施

取組4 トークセッションの開催

1 目的

京町家等の活用者となる新たな担い手の発掘の促進、及び京町家等の保全・継承に係る先進事例を広く紹介すること

2 取組内容

オンラインのウェビナー形式によるトークセッションを2回開催

(2) 広報の強化

①京都市との連携

京都市企業誘致プロジェクトの主体である京都市東京事務所のメールマガジンで広報

②SNS広告

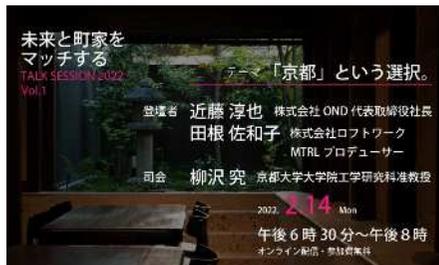
FacebookやInstagramの広告機能による発信

3 成果

(1) vol.1「京都」という選択（参加105名）

2022年2月14日（月）午後6時30分～午後8時

京都を拠点に創造的なビジネスを展開されている講師をお迎えし、京都で仕事をし、場を創り、人と繋がることの可能性について語りました。感度の高い企業が、あえて古い木造建築をリノベーションして拠点とした意図を探りました。（会場：京都もやし町家）



近藤氏より紹介：UNKNOWN KYOTO外観



田根氏より紹介：FabCafe Kyoto/MTRL KYOTO内観

(2) vol.2「京町家」を継ぐということ（参加者75名）

2022年2月17日（木）午後4時～午後6時30分

創造的な場づくりや活用スキームの実践をされている京町家所有者を講師にお迎えし、先進的な活用事例を御紹介いただきました。受け継いできた京町家に対する想いを伺い、地元京都に資産を持ち続けるにあたり、京町家が直面している課題と未来を考えました。（会場：新大宮広間）



荒川邸



小笹邸